

ボランティア OSAKA



ボランティアフェスティバル in 河内長野



第24号

2001
SPRING

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

特集 精神保健ボランティア活動の現状と課題

●市町村ボラ連「Vサイン」No.13

フェスティバルの様子はP.7で詳しく紹介しています。

座談会

精神保健ボランティア活動の現状と課題

精神保健ボランティアとは、精神障害のある人たちの生活を支援するボランティア活動です。心の病気つまり精神病は、誰もがかかる可能性のある病気ですが、まだまだ正しく理解されておらず、社会環境の整備も十分とは言い難いのが現状です。そんな中、精神障害のある人たちの生活や就労を支援する精神保健ボランティアの活動は、当事者の心の支えとなると同時に、誰もが生きやすい「人にやさしいまちづくり」の推進役としても大きな期待を集めています。

そこで今回は、さまざまな立場で精神障害と精神保健ボランティアに関わっている5人の皆さんに集まっていただき、精神障害と精神保健ボランティアの現状と課題について語っていただきました。

<出席者> (順不同)

*NPO法人「大阪府精神医療人権センター」ボランティア
塚本 武志さん

*まつしの共同作業所職員
服部 一夫さん

*精神保健ボランティアグループ「サン・アーチ」代表
田口 三代さん

*大阪府茨木保健所精神保健福祉相談員
花田 光江さん

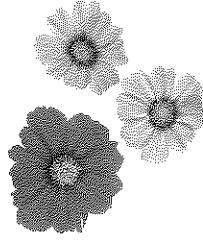
*大阪府立こころの健康総合センター地域ケア課精神保健福祉士
宇高 章さん

*司会
『ボランティアOSAKA』編集部

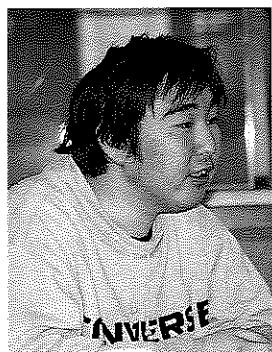
心の病気と 精神保健ボランティア

司会 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。精神保健ボランティアは比較的新しい分野のボランティア活動ですが、そのニーズは社会的にも高まりつつあり、今後ますますの広がりと発展が期待されています。今日は、精神障害と精神保健ボランティアについて、それぞれの立場から忌憚のないご意見を述べていただき、精神保健ボランティアを取り巻く現状とこれから課題について考えていただきたいと思います。ではまず、皆さんの自己紹介と活動の概要についてお聞かせください。

塚本 NPO法人「大阪精神医療人権センター」ボランティアの塚本です。私は7年前に発病し、分裂病と診断されました。2度の入院を経て、現在はグループホームで暮らしながら、大阪精神医療人権センターのボランティアをしています。センターは精神障害のある人を人権侵害報酬の不正受給などの劣悪な医療実態が発覚。97年の大和川病院事件（精神病患者の強制入院や暴行死亡などの人権侵害、診療報酬の不正受給などの劣悪な医療実態が発覚。97年に廃院）をきっかけに、大阪府内の精神病院の訪問調査を開始しました。事務局員と当事者数人を含むボランティア計32名で、府内有床病院の全てにあたる63病院を訪問したんです。1つだけ拒否された病院がありましたが、全体的には歓迎してくれる病院が多かったた



す。「うちはきちんとしてるから、ぜひ見て欲しい、伝えて欲しい」ということですね。この訪問調査で痛感したことは、「患者が置かれている環境は表情を見ればわかる」ということ。自由で開放的な病院や、人と触れ合うことのできる環境にいる患者さんは、目の輝きが違います。精神障害の場合、本人が感じている不安をどう解消するかがとても大切な問題です。だから、「仲間やボランティアさんと話ができる」というのがすごく大きな意味を持つんです。



NPO法人「大阪府精神医療人権センター」ボランティア
塚本 武志さん

る。地域の民生委員さんからの呼び掛けで始めたんですが、今では週20食ほど届けており、地域との交流としても意義ある活動だと思います。あと、電話相談もしています。週1回3時間で、年間の相談件数はおよそ100件。

こういうことを作業所がしているっていうのは珍しいんじゃないでしょうか。それから独自のホームページも開設し、いろんな情報発信に取り組んでいます。



「まつしの共同作業所」のお昼ごはんの一例



まつしの共同作業所職員
服部 一夫さん

ておでんにしたんです。そしたら皆さん「おいしい」「ありがとう」って喜んでくれて。ほんとに嬉しかったですね。それから月2回くらい、その作業所「アーチェンタープライズ」で昼食づくりをするようになりました。今では会員数も59人と増え、作業所や喫茶店「アーチ」を運営したり、地元のママさんバレーチームとの交流会を企画したりと、いろいろなことに挑戦しています。それから、96年度からは岸和田市の精神保健ボランティア講座の企画・運営もさせてもらっています。

花田 茨木保健所で精神保健福祉相談員（ケースワーカー）をしています。精神病、痴呆症、アルコール依存症の方の「こちらの健康相談」が主な仕事で、新規・継続を含めて年間のべ約2000件を4人で担当しています。それと、週に2回、グループワーク（当事者の友達づくりを行っています。あとは精神保健ボランティア講座や家族教室、啓発講演会などを開催しています。相談員の役割は、社会復帰の支援と医療への橋渡しなんですけども、ある時、相談に来られた当事者の方が「こんな扱いをされるかと不安で、なかなか保健所に相談に来ることができなかつた」と言われたんです。ああ、これまで言いつくせないほどの差別と迫害に苦しんでこられたんだ、と。精神保健というものが、いかに誤解と偏見が多い分野なのかということを、その時あらためて痛感させてされました。

服部 藤井寺市にある「まつしの共同作業所」職員の服部です。まつしのは84年に設立された精神障害者社会復帰施設で、今年で17年ですから、比較的古参ということがあります。現在は、藤井寺市と羽曳野市に在住の精神障害のある人37名が利用しています。作業の内容はプラスチック製品の組み立てや袋詰めなどの軽作業が中心です。それと、うちでは一食200円で昼食が食べられるのですが、これを近所の高齢者に同じ200円で配食するという、事業とボランティアの中間のようなことをしています。管理栄養士さんとメンバーが話し合って毎週の献立を考え、一緒に調理して、配つて届け

宇高 大阪府立こころの健康総合センタ

一地域ケア課で、地域活動の支援やネットワークづくりに携わっています。センター全体としては、一人ひとりの心の健康相談、診療、電話相談、デイケアなど、こちらの健康に関して文字通り総合的な活動をしています。地域ケア課では、地域の当事者団体や家族会やボランティアグループなど、さまざまな団体の活動を支援したり、関係機関との連携を図ったりといった、各地域に密着した活動を開いています。

全国規模で活発化する 精神保健ボランティア

司会 これまでの歴史の中で、精神障害のある人たちは、誤解と偏見に基づく不当な差別を受けてきました。80年代から「ノーマライゼーション」という概念が急速に普及しましたが、しかし他の障害に比べて精神障害のある人の社会化はなかなか進まず、93年によく障害者基本法の中で福祉施策の対象と位置づけられ、以降、精神障害のある人に対してさまざまな支援策が進められています。そんな現状を、皆さんはどのように捉えておられるでしょうか。

宇高 精神障害への理解と支援が難しいのは、「病気と障害が共存している」という、他の障害はない特性があるからです。病気が、社会生活における生きづらさという障害を伴っているのです。だから、その支援を考える時には、医療と福祉の両立が不可欠になってしまいます。病気の勢いが強い時は医療の支援が、そうで



大阪府立こころの健康総合センター地域ケア課精神保健福祉士
宇高 章さん

ない時には、再発しないよう予防的なケアをしながら生活をしていくための福祉的な支援が、そして時には双方の支援が必要なんですね。

塚本 そうなんです。でも、つい数年前までは医療しかなかった。「入院か否か」というわけです。それで仕方なく病院にいる、周囲や地域の理解が進めばどんどん減っていくはずなんです。

宇高 私が以前、岸和田保健所にいた時、精神保健ボランティアの講座の開催を計画しました。でも実現に至るまではかなりの糾余曲折があり、1年半がかりで関係者の合意をとりつけ、ようやく実現したのが93年、ちょうど障害者基本法ができる年でした。当初は、この活動がうまく育っていくのだろうかと不安だらけのスタートでしたが、いざ始まつてみれば”案するより産むが易し”で、ボランティアさんや当事者のパワーでどんどん進展していきました。その勢いはこっちがびっくりするくらいでしたよ。

花田 それは私も強く感じます。ボランティアさんたちの、どんどん入つていこう、地域を巻き込もうとするエネルギーは本当にすごいくて、頭が下がる思いです。

ボランティアの意義と期待される役割

塚本 でもやっぱりまだ問題はたくさんありますね。福祉施策や制度も十分とは言えませんし、生活の基本となる居住の場についても、まだまだこれからです。グループホームは数こそ増えてきましたが、病院の敷地内にあるところがまだ多いのが現状ですし、中にはほんと

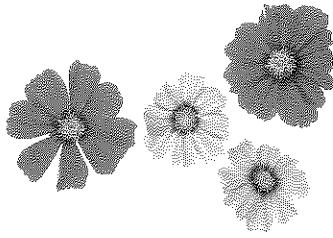
宇高 ボランティアグループの数も随分と増え、現在大阪府内で32グループ、去年の集計によると全国では400弱のグループが活動しています。

服部 それに、就労の場である作業所の数も飛躍的に増えました。現在府内には約130か所の作業所があるといいますから、すごいですね。実はまつしのでは現在「地域生活支援センター」の立ち上げを目指して、準備を進めているところなんです。

宇高 そうですか。地域生活支援センターというのは、精神障害者地域生活支援事業として設置される福祉施設で、生活相談や支援を行うものです。現在は府内に8か所しかありませんが、今後はどんどん設置が進み、いずれ30施設以上になるだろうと言われています。

花田 施設によっては24時間体制のところもありますから、行政である保健所とはまた違う側面からの支援が可能です。

宇高 各地のセンターが充実していくば、地域に密着した、地域色の濃い支援サービスが実現すると期待されています。



精神保健ボランティアグループ「サン・アーチ」代表

田口 三代さん

精神障害の人たちは、社会で生きづらさを感じるところもある。そこで、精神保健ボランティア活動が行われている。田口三代さんは、この活動の代表者だ。彼女は、精神障害者に対する理解と支援を目的とした活動を行っている。田口さんは、「精神障害者に対する理解と支援を目的とした活動を行っている」と話す。また、「精神障害者に対する理解と支援を目的とした活動を行っている」とも述べた。

田口 三代さん

田口 周囲の誤解と偏見も根強いものがあります。私が初めてそのことを痛感したのは、精神障害のある人たちのリハビリ施設である喫茶店のための物件を探している時でした。それまでトントン拍子に話が進んでいたのに、そういう施設を作ると言つたとたん、手の平を返したようには邪険に断られたんです。私はたまたま精神保健ボランティア入門講座を聞いて、普通のボランティアと何ら変わらないと思って活動をしていました。そしてその時初めて、精神障害のある人がいかに差別されているかを知りました。どれほど苦しさと生きづらさの中で、彼ら

に話を進んでいたのに、そういう施設を作ると言つたとたん、手の平を返したようには邪険に断られたんです。私はたまたま精神保健ボランティア入門講座を聞いて、普通のボランティアと何ら変わらない

宇高 そうでしたね。私は当時から田口さんはお付き合いがありました。実はいざ行こうとする、喪服も数珠も持つてない人がほとんどだった。だから数珠は頗々に回してお焼香をしたんです。

塚本 多くの場合、精神障害があるといふだけで、冠婚葬祭など家族行事の集まりからは疎外されているのが現状なんですよ。

田口 やはり社会の無理解が問題だと思います。もちろん疎外をしない家族もありますし、家族の方の中でも今までの苦しい経過があるので、解ついていてもすぐには変われない人もいます。これはみんなの問題ですね。それは、新聞やテレビでの報道を見ていても思っています。最近はいい報道番組もでてきていますが、やはりまだ……。

宇高 そうでしたね。私は当時から田口さんはお付き合いがありました。実はいざ行こうとする、喪服も数珠も持つてない人がほとんどだった。だから数珠は頗々に回してお焼香をしたんです。

塚本 多くの場合、精神障害があるといふだけで、冠婚葬祭など家族行事の集まりからは疎外されているのが現状なんですよ。

服部 確かに、現在の報道のあり方は問題ですよね。因果関係の説明も何もないに「精神科に通院していた」と言う。だから知らない人は「ああ、だからか」と思い込まれ、そうインプレンティングされてしまう。



サン・アーチが開催する精神保健ボランティア講座やイベントのお知らせ

精神保健ボランティアグループ「サン・アーチ」代表

田口 三代さん

田口 周囲の誤解と偏見も根強いものがあります。私が初めてそのことを痛感したのは、精神障害のある人たちのリハビリ施設である喫茶店のための物件を探している時でした。それまでトントン拍子に話が進んでいたのに、そういう施設を作ると言つたとたん、手の平を返したようには邪険に断られたんです。私はたまたま精神保健ボランティア入門講座を聞いて、普通のボランティアと何ら変わらない

田口 周囲の誤解と偏見も根強いものがあります。私が初めてそのことを痛感したのは、精神障害のある人たちのリハビリ施設である喫茶店のための物件を探している時でした。それまでトントン拍子に話が進んでいたのに、そういう施設を作ると言つたとたん、手の平を返したようには邪険に断られたんです。私はたまたま精神保健ボランティア入門講座を聞いて、普通のボランティアと何ら変わらない

田口 周囲の誤解と偏見も根強いものがあります。私が初めてそのことを痛感したのは、精神障害のある人たちのリハビリ施設である喫茶店のための物件を探している時でした。それまでトントン拍子に話が進んでいたのに、そういう施設を作ると言つたとたん、手の平を返したようには邪険に断られたんです。私はたまたま精神保健ボランティア入門講座を聞いて、普通のボランティアと何ら変わらない

精神保健ボランティア活動の現状と課題

るから犯罪を犯しても仕方ない」というのはもちろん違うし、また全てのケースに「精神障害は犯罪とは無関係」というのも違うと私は思います。精神障害があつてもなくとも、世の中には犯罪を犯す人がいるんだし、精神障害が犯罪の理由であることもあれば、そうでないこともあります。それらのあらゆる事実を、いいことも悪いことも隠さないで、あるがままに伝えていくことが大切なんですよ。それが社会を変えていくんです。

宇高 同時に実際に触れ合う機会を増やすことも不可欠だと私は思いますね。

花田 そうですね。精神障害は外見ではわからないので、理解が余計に難しい。実際に接してみないとわからないものですから。

宇高 触れ合って肌で感じたことを、一人ひとりが地域にフィードバックしてくれれば、何かがほんの少し変わる。そんな日常的な地道な活動が、結局は本当の理解への近道なのかもしれない。

花田 精神障害の場合、何かができるわけではありませんから、ボランティア活動にしても、当事者ができないことをあげるという形にはなりません。ただ横にいるだけ、一緒にいるだけの「居るだけボラ



大阪府茨木保健所精神保健
福祉相談員

花田 光江さん

ンティア」。でもそれがすごく大切。なぜかというと、往々にして当事者は家族と専門家（医者やソーシャルワーカーなど）しか知らないんです。だから「一般市民として触れ合って、当事者の不安を解消する」ということは、ボランティアさんにしかできることなんですね。

塙本 そう、家族には家族だからこそ葛藤がある。だから私たち当事者にとって、ボランティアさんは、時に家族よりも親密な関係にあるんです。病院やグループホームに来てくださるボランティアさんと触れ合うことで、僕たちは随分不安を解消することができる。それを支えに、地域に出て行くことができる。そんなボランティアさんがもつともっと増えてくれれば、「社会的入院」だってどんどん減っていくし、僕たちはもっと生きやすくなるんです。

服部 ボランティアが、当事者と社会をつなぐパイプ、つまり情報伝達の触媒としての役割を担うということですね。

宇高 そこで威力を發揮するのが、ボランティアさんの持つ「市民性」です。地域社会全体でケアしていく、そんな社会を実現するには、当事者と専門家とボランティアさんが一緒になつて地域づくりをしていかなければなりません。地域社会の豊かな人材資源をフルに活用し、タテの関係ではなく横のネットワークを充実させる。そこから、本当に誰もが住みやすい地域づくりが生まれてくるのではないかでしょうか。

ンティア」。でもそれがすごく大切。なぜかというと、往々にして当事者は家族と専門家（医者やソーシャルワーカーなど）しか知らないんです。だから「一般市民として触れ合って、当事者の不安を解消する」ということは、ボランティアさんにしかできることなんですね。

塙本 そう、家族には家族だからこそ葛藤がある。だから私たち当事者にとって、ボランティアさんは、時に家族よりも親密な関係にあるんです。病院やグループホームに来てくださるボランティアさんと触れ合うことで、僕たちは随分不安を解消することができる。それを支えに、地域に出て行くことができる。そんなボランティアさんがもつともっと増えてくれれば、「社会的入院」だつてどんどんどん減っていくし、僕たちはもっと生きやすくなるんです。

服部 ボランティアが、当事者と社会をつなぐパイプ、つまり情報伝達の触媒としての役割を担うということですね。

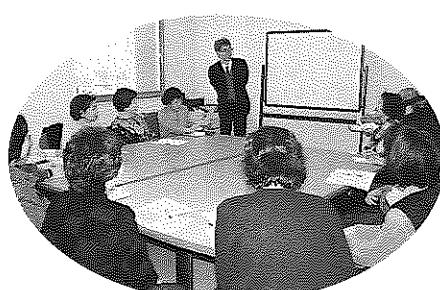
宇高 そこで威力を發揮するのが、ボランティアさんの持つ「市民性」です。地域社会全体でケアしていく、そんな社会を実現するには、当事者と専門家とボランティアさんが一緒になつて地域づくりをしていかなければなりません。地域社会の豊かな人材資源をフルに活用し、タテの関係ではなく横のネットワークを充実させる。そこから、本当に誰もが住みやすい地域づくりが生まれてくるのではないかでしょうか。

ンティア」。でもそれがすごく大切。なぜかというと、往々にして当事者は家族と専門家（医者やソーシャルワーカーなど）しか知らないんです。だから「一般市民として触れ合って、当事者の不安を解消する」ということは、ボランティアさんにしかできることなんですね。

塙本 そう、家族には家族だからこそ葛藤がある。だから私たち当事者にとって、ボランティアさんは、時に家族よりも親密な関係にあるんです。病院やグループホームに来てくださるボランティアさんと触れ合うことで、僕たちは随分不安を解消することができる。それを支えに、地域に出て行くことができる。そんなボランティアさんがもつともっと増えてくれれば、「社会的入院」だつてどんどんどん減っていくし、僕たちはもっと生きやすくなるんです。

服部 ボランティアが、当事者と社会をつなぐパイプ、つまり情報伝達の触媒としての役割を担うということですね。

宇高 そこで威力を發揮するのが、ボランティアさんの持つ「市民性」です。地域社会全体でケアしていく、そんな社会を実現するには、当事者と専門家とボランティアさんが一緒になつて地域づくりをしていかなければなりません。地域社会の豊かな人材資源をフルに活用し、タテの関係ではなく横のネットワークを充実させる。そこから、本当に誰もが住みやすい地域づくりが生まれてくるのではないかでしょうか。



講義の後は5つのグループに分かれ、日頃の活動体験などを話し合いました



77名が参加した精神保健ボランティア研修会／2月26日
(於・大阪府立こころの健康総合センター)

ンティア」。でもそれがすごく大切。なぜかというと、往々にして当事者は家族と専門家（医者やソーシャルワーカーなど）しか知らないんです。だから「一般市民として触れ合って、当事者の不安を解消する」ということは、ボランティアさんにしかできることなんですね。

塙本 そう、家族には家族だからこそ葛藤がある。だから私たち当事者にとって、ボランティアさんは、時に家族よりも親密な関係にあるんです。病院やグループホームに来てくださるボランティアさんと触れ合うことで、僕たちは随分不安を解消することができる。それを支えに、地域に出て行くことができる。そんなボランティアさんがもつともっと増えてくれれば、「社会的入院」だつてどんどんどん減っていくし、僕たちはもっと生きやすくなるんです。

服部 ボランティアが、当事者と社会をつなぐパイプ、つまり情報伝達の触媒としての役割を担うということですね。

宇高 そこで威力を発揮するのが、ボランティアさんの持つ「市民性」です。地域社会全体でケアしていく、そんな社会を実現するには、当事者と専門家とボランティアさんが一緒になつて地域づくりをしていかなければなりません。地域社会の豊かな人材資源をフルに活用し、タテの関係ではなく横のネットワークを充実させる。そこから、本当に誰もが住みやすい地域づくりが生まれてくるのではないかでしょうか。

ンティア」。でもそれがすごく大切。なぜかというと、往々にして当事者は家族と専門家（医者やソーシャルワーカーなど）しか知らないんです。だから「一般市民として触れ合って、当事者の不安を解消する」ということは、ボランティアさんにしかできることなんですね。

塙本 そう、家族には家族だからこそ葛藤がある。だから私たち当事者にとって、ボランティアさんは、時に家族よりも親密な関係にあるんです。病院やグループホームに来てくださるボランティアさんと触れ合うことで、僕たちは随分不安を解消することができる。それを支えに、地域に出て行くことができる。そんなボランティアさんがもつともっと増えてくれれば、「社会的入院」だつてどんどんどん減っていくし、僕たちはもっと生きやすくなるんです。

服部 ボランティアが、当事者と社会をつなぐパイプ、つまり情報伝達の触媒としての役割を担うということですね。

宇高 そこで威力を発揮るのが、ボランティアさんの持つ「市民性」です。地域社会全体でケアしていく、そんな社会を実現するには、当事者と専門家とボランティアさんが一緒になつて地域づくりをしていかなければなりません。地域社会の豊かな人材資源をフルに活用し、タテの関係ではなく横のネットワークを充実させる。そこから、本当に誰もが住みやすい地域づくりが生まれてくるのではないかでしょうか。

ンティア」。でもそれがすごく大切。なぜかというと、往々にして当事者は家族と専門家（医者やソーシャルワーカーなど）しか知らないんです。だから「一般市民として触れ合って、当事者の不安を解消する」ということは、ボランティアさんにしかできることなんですね。

塙本 そう、家族には家族だからこそ葛藤がある。だから私たち当事者にとって、ボランティアさんは、時に家族よりも親密な関係にあるんです。病院やグループホームに来てくださるボランティアさんと触れ合うことで、僕たちは随分不安を解消することができる。それを支えに、地域に出て行くことができる。そんなボランティアさんがもつともっと増えてくれれば、「社会的入院」だつてどんどんどん減っていくし、僕たちはもっと生きやすくなるんです。

服部 ボランティアが、当事者と社会をつなぐパイプ、つまり情報伝達の触媒としての役割を担うということですね。

宇高 そこで威力を発揮のが

ボランティアフェスティバル in 河内長野 市民グループ・ボランティア団体が大結集！

盛況の活動展示
スペース



すみれ会の新舞踊。ステージでは手話通訳のボランティアも活躍



表紙の写真は、去る3月17日（土）に河内長野市立文化会館「ラブリー」ホールで行われた「ボランティアフェスティバル in 河内長野」の様子です。主催したのは、河内長野市とかわちながのボランティア活動推進委員会。同委員会は、平成11年度に市の呼びかけで集まった個人・ボランティア団体などの「かわちながのボランティア活動推進懇談会」が母体となったもので、この日の催しは、まさに「河内長野の市民と行政とのパートナーシップにより実現」（飯阪保かわちながのボランティア活動推進委員会委員長）したものでした。

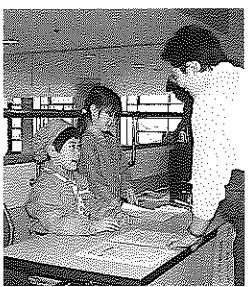
あいにくの雨にもかかわらず、当日は小学生からシニアの皆さんまで、いろんな年代の人たちが会場に集まりました。午前中の映画「えんとし」の上映などに続き、午後からはステージ発表とアトラクション。16の団体が活動状況の発表と、舞踊、ハワイアンダンス、歌体操、人形劇、筝曲演奏など、日頃の活動成果を華やかに披露しました。

またB1では、30以上のグループが、取り組んでいる活動内容をパネルなどで展示。訪れた市民にPRしながら、互いの交流を深めました。さらに2Fの会議室では紙芝居や手話教室なども開かれ、同じく2Fの和室では、ハーフティーとクッキー、和菓子、非常食などをふるまわれました。

印象的だったのが、清教学園インターナショナルクラブの高校生や、ガールスカウトの小学生などが、受付や案内、さらに総合司会などで大活躍していたことです。2Fでは、小学



交流コーナー（2F和室）では高校生が受付を担当



ガールスカウトの小学生も受付を担当

一年生の女の子が立派に受付け業務をこなすなど、来場者も感心する場面が随所で見られました。

「ともあれ、これだけの催しは今回が初めて。これをきっかけにボランティア活動の啓発と団体間の交流を、今後より深めていきたい」と清教学園の理事である飯阪保さん（前出）。わがボフ連に加入する「河内長野市ボランティア連絡会」ももちろん参加し、フェスティバルを大いに盛り上げたのは言うまでもありません。この日の催しを機に、河内長野のボランティア活動が、より一層パワーアップすることを期待したいのです。



◀ 交流が深まった活動展示スペース ▶



無いユニフォームで紙芝居を行った「河内長野リサイクル市場市民の会」の皆さん





北 摂

2001年は日本が提唱し、国連が採択した「ボランティア国際年」です。それに呼応して、高槻市、同市社会福祉協議会が共催し、ボランティア連絡協議会協力の研修会が2月3日（土）、市立生涯学習センターで開催されました。

第1部の記念講演は角田禮三さん（大阪工業大学教授）による「ボラン



ティア教育のすすめ」。すべての人が互いに支え合い、励まし合い、いたわり合っていける社会を創る原動力。人間としての優しさや他人を思いやることのできるボランティア精神。自然を含め、生きとし生けるものと共に生きる社会を創る。…と、永年にわたる教師生活の体験をもとに、「ボランティア教育」を通して21世紀を生きる子どもたちに語り継いでいきたいものについて話され、強い信念とその熱い語り口

に、聴衆は感動の面持で聞き入っていました。

午前中は、高槻市ボラ連各グループの自己紹介と、各市町村から現状報告があり、昼食休憩時間には手話コーラスとストーリーテリング。

午後は福祉レクリエーションでひた汗かいてから、5つの分科会（自助具つて何？・折り紙教室・お手玉遊び・

ボランティア国際年記念事業 21世紀の市民活動を創造するために

河 南

2月16日（金）、ちょっと変わった交流会が行なわれました。担当は大阪狭山市ボランティアグループ連絡会です。福祉センターさやま荘の大広間に10時集合、到着早々参加者は自分の名札を折り紙で作ります。もちろん狭山のスタッフがつきつきりで教えてくれます。



河南ブロック交流会を開催 河南レクリエーションなど

第2部は午後から第1分科会「地域福祉活動」、第2分科会「福祉教育活動」、第3分科会「国際交流活動」と3ヶ所に分かれて内容別の意見交換が行なわれましたが、参加申し込みが殺到。各会場満席の状態の中、それぞれ先進的な取り組みや、ユニークな活動状況等の事例発表に熱心に耳を傾け、参加者からも意見が続出するなど活気に、改めて活動の伸展やネット

ワーク化に対する関心の高さが伺えました。

障害者の参加も多数見受けられ、子どもから高齢者まで障害の有る無しに関らず、「誰でも・いつでも・どこでもボランティア活動」の理念に基づいた活動の様子が実感でき、なおかつ今後の促進に導いた記念事業でした。

（高槻市 吉田 由巳）

色ごまを作ろう・割り箸鉄砲を作ろうに分かれて、それぞれリーダーの方々の指導を受けて勉強に励むという趣向でした。

参加者は時間を忘れて楽しく過ごしましたが、事前のアンケート調査のま

とめを含め、狭山市ボラ連の皆さんのが準備は大変だったと思います。ありがとうございました。



割り箸鉄砲づくりやレクリエーションで楽しいひととき



ボランティア国際年 東大阪で記念事業

河南ブロック交流会が2月16日、大阪狭山市で開かれましたが、その席上、ボランティア国際年についての取り組みが報告されました。八尾市は秋行事を予定していることでしたが、直近の計画が東大阪市の「記念フォーラム」でした。

2月24日（土）、あいにくの小雨模様でしたが、東大阪市立文化会館に多くの市民が集い、ボランティア国際年の提唱者である中田武仁さんの講演と活動事例発表の小シンポジウムをメインに、記念フォーラムが開催されました。主催は実行委員会でしたが、たくさん



中田武仁さんの記念講演

ボランティア活動を推奨する段階では、日本には思想がないからボランティアという日本語がないのだという厳しい指摘があり、ボランティアの定義として、活動の責任を負う自主性と、他人の痛みがわかる福祉の心とともに、非報酬性をあげられました。そして、「理にかなった経済活動は当然必要ですが、愛犬家は病気の飼い犬の治療費と新しい犬の購入費を天秤にかけるだろうか」など、分かりやすい例えで説明されました。

シンポジウムは、まず小学校の先生から。やや荒れていた学級で、総合学習の取り組みで近隣のゴミ拾いから施設見学へと進み、やがては職業体験先を児童自身が見つけだしてくるまでの



(河南)ブロック広報担当 宮田 信直

変わりようが報告され、ついで、女子大の点訳グループから、年間計画を立てて点訳活動とともに肢体不自由者や聴覚障害者と交流している様子が説明されました。ともに、ボランティア活動のひとつ目のイメージが参加者に伝わったのでは、と思います。終りに手話グループのリードで、隣の人と手をつなぎだりする手話コーラスがあり、予定時間はやや超過しましたが、温かい印象が残ったフォーラムでした。

泉州

新しい時代のスタートラインとして

さかいボランティアシンポジウム報告

ボランティア国際年として新しい世纪を迎えた2001年

ランティア、市民活動のあり方”50後(2051年)の夢”などが語られました。

1月23日(火)、堺市社会福祉協議会では、20世紀のボランティアを振り返り、21世紀のボランティア・市民活動を考える「さかいボランティアシンポジウム」を堺市総合福祉会館で開催しました。

第1部の記念講演では、(社福)大阪ボランティア協会岡本榮一理事長により、大阪、堺のボランティアの誕生から福祉ボランティア活動の発展の歴史、阪神・淡路大震災を起点としたNPO・市民活動の隆盛など、20世紀の活動の展開の整理から、これからボランティアシンポジウムでは、市民活動のあり方”50後(2051年)の夢”などが語られました。

芸の特技グループ「ボランティアグループてんとう虫」代表の藤井史子氏、地域活動から「高倉台ボランティアグループはな」代表の中山滋氏、市民活動分野から「堺観光ボランティア協会」常任理事の塩田精氏、NPO法人から「特定非営利活動法人せかんど」代表の松上達史氏)の活動の報告と、それまでの活動のやりがいや必要性の発表のほか、新世紀を迎えて、これから活動のあり方にについて活発な意見が出



シンポジウムは350人を超える参加者で大盛況

されました。

当団は350名を超える参加者がおり、草の根活動としてのボランティア活動、グループの役割とそれらをリードすべきNPOの活動について整理され、これからボランティアや市民活動の指向性を考える場として、盛況のうちに終わりました。

堺市社会福祉協議会では、このシンポジウムを新しい時代の始まり(スタートライン)として捉え、ボランティア情報センターならびに2つの地域拠点のビューローを基盤に、ボランティア国際年記念事業を含め、今後も様々なボランティア啓発事業を予定しています。

(堺市社会福祉協議会 宮崎 浩二)

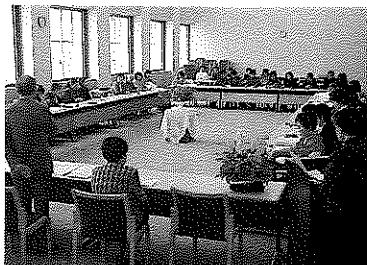
泉州ブロック交流会開催 田尻町ボランティアの集い

2月13日(火)、泉州ブロック交流会が田尻町総合保健福祉センター(ふれ愛センター)で開催され、10市町より大勢のボランティアが参加しました。

交流会は、まず出席者の自己紹介から始まり、続いて各市町の活動状況が活発に発表されました。

和泉市では、年1回ボランティアフェスティバルを開催。12年度は11月23日に行われたそうです。イベントは3つの分野に分け、屋内では手品、紙芝居、踊り、国際交流等、屋外ではスポーツ(子どもたちと一緒に遊ぶ)、それにフリーマーケット80店。6月頃から企画、準備を始めたとのお話でした。

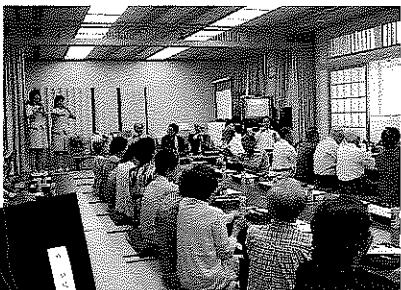
ボランティアサロンを開いている地区では、手芸等をしている時は割合たくさんの人が集まるのに、手話の勉強に変わつたら人数が集まらないといった苦労話も。その他、多くのボランティア活動に活躍中の皆さんのお話を伺い、その奮闘ぶりに頭の下がる思いです。数あるボランティアグループ間の横



交流会では各市町の活動状況を発表

のつながりを深めるために、常に交流を図っていますか、という質問に、ほとんどの市町は年1回、施設の見学等を兼ねた研修会を行っているとのこと。その場合、バス代、昼食代はどこまで個人負担なのか。そんな率直な質問も出ました。

また、もっと大勢のボランティアを募りたいがどのようにして募集をしていますか、との質問には、社協だよりとか、広報紙に掲載する方法をとつて、その場合、バス代、昼食代はどこまでいる地区が多いが、高石市の場合は、ボランティア広報紙や社協新聞に各グループのグループ名、代表者氏名、電話、



保健婦さんの指導のもとに体操



プレゼントの
リリアン人形

田尻町では毎年、独居老人昼食会を開催していますが、昨年の催しには約60名のご出席をいただきました。

田尻町では毎年、独居老人昼食会を開催していますが、昨年の催しには約60名のご出席をいただきました。

内容と致しましては、

一 保健婦さんによる体操

座つてできる軽い運動を全員でしました。

一 保健婦さんによる体操
座つてできる軽い運動を全員でしました。

一 手づくりのリリアン人形を
プレゼント
手さげかばん等につけて下さつてい
るのを見かけますと、とても嬉しく
て、次なる意欲が湧いてきます。

一 カラオケ大会

皆さん大変お上手で、なつメロから新曲まで、時間いっぱいまで積極的に唄つて下さり、私たちもとても嬉しいかったです。

一 カラオケ大会
からくじなしのくじ引き大会をして盛り上がり、和やかなひとときを過ごして大変喜んで頂きました。

このような色々な交流の場を作り、人と人との心の和が広がり、小地域ネットワークの大きな輪ができれば何よりもすばらしいことだと思います。

(田尻町 佐伯 敦子)

カラオケ大会やくじ引きも 独居老人昼食会で交流

曜日、時間、活動状況等の一覧表で記載してあるので、自分に合ったボランティアを探し出して申し込みがあるそうです。さらに、口コミで勧誘するのが一番ですとの答えもありました。

私は、なにか自分にできることで社会に貢献してみたい、そんな気持ちからボランティアに参加しました。細く、長くこの活動を続けるためには、無理のない活動を自分自身のために進めて

行くことが大切だと思います。

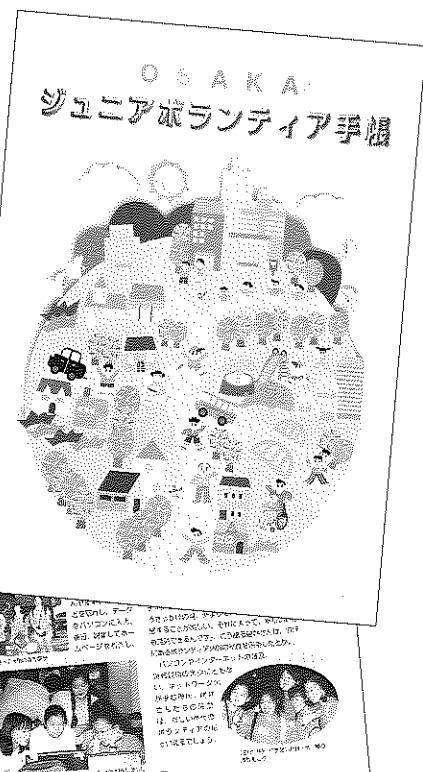
閉会後、ふれ愛センター内の見学をしていたただき、予定を終了しました。

最後になりましたが、田尻町のふれ愛センターの所在地の地図が黒く小さかったので場所がはつきりせず、かなり迷ってしまいました。本当に申し訳ございませんでした。

(田尻町ボランティア連絡会 冠 和子)

3月に発刊 『OSAKAジュニアボランティア手帳』改訂版が 大阪府市町村ボランティア連絡会の活動も紹介された

3年前に発刊された、中・高生のボランティア活動を紹介する『OSAKAジュニアボランティア手帳』の改訂版が、このほど発刊されました。編集メニューの中心は、中・高生の多彩なボランティア活動を紹介する記事ですが、なかで「社会人もがんばっている」というページがあり、大阪府市町村ボランティア連絡会の活動も紹介されています。



シルバー世代もがんばっている!

社会人も
がんばっている!

若者ならではの行動力と
感性に期待しています

大阪府市町村ボランティア連絡会の皆さん

この手帳は、大阪府市町村ボランティア連絡会の皆さんが、これまでに実施してきたボランティア活動の実績や、ボランティア活動に対する想いなどをまとめたものです。また、ボランティア活動を通じて得た経験や感想、今後の活動目標などを記載しています。手帳の中には、ボランティア活動の実績や、ボランティア活動に対する想いなどをまとめたものです。また、ボランティア活動を通じて得た経験や感想、今後の活動目標などを記載しています。



3

障害のある人達と一緒に 色々な活動をしませんか

- 活動内容**: 調理・野外レクリエーション・音楽・手話・点訳・コンピューター講習などをしています。活動の企画を考えいただける方を募集。
- 日 時**: 月曜日～金曜日 9:30～15:30 月4回
- 沿 線**: 近鉄奈良線 若江岩田駅 徒歩5分
- 募 集 対 象**: 専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～50歳代)、グループでの参加歓迎、外国人歓迎
- 費 用**: 昼食支給
- 問 合 せ 先**: TEL・FAX 06-6730-2941
東大阪市精神障害者花園福祉作業所
(担当/住吉小夜香)
*ほとんどの方が精神障害者で、なかなか一般の方と接する機会がないので、話し相手をしてください。

4

動物好きの人、集まれ!

- 活動内容**: 保護された動物の世話、散歩、里親さがし、団体の資料や書籍の作成、街頭募金の手伝い
- 日 時**: 9:30～18:30 (作業内容による)
- 場 所**: 甲斐アニマルトラスト (豊能郡能勢町野間大原117) 能勢電鉄妙見口駅 バス15分
- 募 集 対 象**: 高校生以上、成人(概ね10～50歳代)、初心者・親子での参加歓迎
- 費 用**: 交通費自己負担
- 問 合 せ 先**: TEL 0727-37-1707 FAX 0727-37-1757
E-MAIL: aan08290@nyc.odn.ne.jp
NPO法人甲斐アニマルトラスト(担当/伊東高)
*土・日・祝に様々な駅で行う募金活動に参加してくださる人も募集。犬といっしょに駅前で甲斐アニマルトラストのことを多くの人に知ってもらってください。

5

「発見ボックス」に身近で みつけた自然資料を展示しよう

- 活動内容**: 「発見ボックス」とは、きしわだ自然資料館の2階にある利用者参加コーナー。みなさんが身近な自然で発見した「おもしろいもの」を展示しています。採集した日時、場所、状況などを詳しく記入して、当館まで持参(または郵送)して下さい。写真も可です(キャビネ版まで)。
- 募 集 対 象**: 身近な自然に関心のある方ならどなたでも
- 費 用**: 郵送の場合の送料は自己負担(郵送前に必ず事前連絡を)
- 問 合 せ 先**: TEL 0724-23-8100 FAX 0724-23-8101
きしわだ自然資料館(担当/西中美穂)
*岸和田市堺町6-5(月曜、月末休館)

Vクリッピングボード

ボランティアをやってみたい!
そんなあなたに耳寄りな情報満載



さあ、ボランティアしよう!

<ご利用にあたって>

- ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。
- このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧になれます。
<http://www.ovn.gr.jp/>

I

障害者の外出の応援を 初心者歓迎!

- 活動内容**: 外出ボランティア募集。介護経験のない方、車いす操作がわからない方でも大丈夫。慣れた方と同行、または研修もあります。
- 日 時**: 主に土 日曜日(平日の活動もあり)
- 場 所**: 大阪府内の施設から外出先(障害者の希望に応じ、買い物・映画・コンサート、京都・奈良・神戸への行楽など)
- 主 な 施 設**: 福泉療養院(堺市鳳)、今宮自彌館(大阪市西成区)、身障センター(堺市)、みおつくしの社(吹田市)、富田林苑・わらしべ園(枚方市)、光園(泉佐野)
- 募 集 対 象**: 高校生以上、どなたでも
- 費 用**: 交通費全額支給。飲食費は自己負担
- 問 合 せ 先**: TEL 06-6607-8260 FAX 06-6607-5503
E-Mail: lifenet@nuc.odn.ne.jp
ライフ・ネットワーク(担当/樽尾)

2

“第2回小規模作業所バザー”開催

- 活動内容**: 小規模作業所バザーは、障害者作業所の地域への広報活動及び生活施設建設基金づくりです。開催の準備・バザーの販売協力・利用者介護・片づけなどのお手伝いをお願いします。
- 日 時**: 4月22日(日) 7:00～17:00
- 場 所**: 蒲生公園(大阪市城東区中央3丁目)
- 沿 線**: 地下鉄長堀鶴見緑地線 蒲生4丁目駅 徒歩10分、京阪本線・野江駅 徒歩10分
- 募 集 対 象**: 高校生以上、成人(概ね10～60歳代以上)、初心者歓迎
- 費 用**: 交通費は自己負担。昼食は模擬店販売品を支給
- 問 合 せ 先**: TEL・FAX 06-6912-7345
もろぐち作業所(担当/飯塚)



9

お年寄りと楽しいひとときを 過ごしましょう

- 活動内容**: お年寄りとの対話、病院や散歩の付き添い、洗濯物の片づけ、在宅の高齢者への配食の手伝い、施設の内外の清掃
- 日 時**: 随時
- 場 所**: 大阪市内
- 募 集 対 象**: 高校生以上、どなたでも。初心者・グループでの参加歓迎
- 費 用**: 交通費自己負担
- 問 合せ先**: TEL 06-6931-5190
FAX 06-6932-5684
城東老人ホーム（担当／篠崎直史）

10

身体障害者のお世話の お手伝いをしてください

- 活動内容**: 軽作業や入浴の補助、趣味講座の講師、パソコンやワープロの指導、日曜大工など
- 日 時**: 月曜日～金曜日（応相談） 午前又は午後のみも可
- 場 所**: 大阪市平野区壹連西6-2-55
- 沿 線**: 地下鉄谷町線 壱連瓜破駅 徒歩10分
- 募 集 対 象**: 不問
- 費 用**: 交通費、食費自己負担
- 問 合せ先**: TEL 06-6797-6681
FAX 06-6702-4492
大阪市更生療育センター（担当／寺野・東堀）

11

各種行事のお手伝いや 調理実習の介助を

- 活動内容**: 地域とのふれあいを大切にする作業所をめざして活動しています。外出行事（新年会、忘年会、芋掘り、日帰り旅行等）およびスポーツ行事（体育館、プール）、調理実習など、知的障害者・児の介助をお願いします。
- 日 時**: 月曜日～金曜日
9:00～12:00、13:00～16:00
- 場 所**: 大阪、神戸、京都
- 募 集 対 象**: 専門学校・短期大学・大学生、成人（概ね10～50歳代）、外国人歓迎（ただし日本語ができる方）
- 費 用**: 交通費自己負担
- 問 合せ先**: TEL・FAX 06-6855-3970
Y・Sセンター（担当／秋月裕美子）

6

気軽に手伝っていただける ボランティアさんを募集します

- 活動内容**: 高齢者・身体障害者の民間デイサービスでのボランティアや利用者のための運転ボランティア
- 日 時**: 月・火・水・土・日曜日（木・金休み）
①デイボランティア 10:00～15:00（ご都合のいい時間）②運転ボランティア 9:00前後～10:00、16:00～17:00
- 場 所**: 「きらく会」（長尾北町1775-5）
- 沿 線**: JR東西線学研都市線 長尾駅 徒歩15分 または京阪本線枚方市駅 バス30分
- 募 集 対 象**: 活動を理解してくださる方。初心者からベテランの方までOK。親子での参加も歓迎
- 費 用**: 交通費自己負担。運転ボランティアは自家用車持ち込み（ガソリン代は実費程度当方が負担）
- 問 合せ先**: TEL・FAX 072-836-6006
民間デイサービス「きらく会」（担当／平田）

7

高齢者・障害者の外出サポート、 話し相手募集

- 活動内容**: 外出サポート、通院介助のドライバー、デイサービスでの高齢者との交流、話し相手
- 日 時**: 月曜日～土曜日 18:00まで
- 場 所**: せかんど（堺市桧尾3093-7）
- 沿 線**: 南海泉北高速線 光明池駅 バス10分
- 募 集 対 象**: 成人（概ね10～50歳代）、初心者歓迎。運転免許をお持ちの方
- 問 合せ先**: TEL 0722-60-1294
FAX 0722-60-1295
E-MAIL : second@jack.dti.ne.jp
特定非営利活動法人 せかんど（担当／赤松尚美）

8

聴覚障害者のためにパソコンで ビデオに字幕をつけませんか

- 活動内容**: テープおこし、パソコン入力、字幕付け作業、映画スクリーンに字幕投射
- 日 時**: 月1回 ほとんどが自宅作業
- 場 所**: 大阪府ボランティアセンター（大阪市中央区中寺1-1-54）
- 沿 線**: 地下鉄谷町線 谷町6丁目駅 徒歩5分
- 募 集 対 象**: 専門学校・短期大学・大学生、成人（概ね10～60歳代以上）、初心者歓迎
- 費 用**: 年会費1200円、字幕活動に関わる交通費・郵便代は、グループが負担
- 問 合せ先**: TEL・FAX 06-6994-3079
E-MAIL : bxg05574@nifty.ne.jp
Gまあと（担当／三上アイ子）

**15**

子どもたちとのかかわりで自分を磨きませんか

- 活動内容**: 交流、話し相手、遊び相手、教科・技能の指導や講演会などのお手伝い
- 日 時**: 随時（応相談）
- 場 所**: 大阪府高槻市大字奈佐原955
- 沿 線**: JR京都線・揖津富田駅 バス20分
- 募 集 対 象**: 専門学校・短期大学・大学生、成人（概ね10～50歳代）
- 費 用**: 交通費自己負担
- 問 合 せ 先**: TEL 0726-96-7033
FAX 0726-96-7022
(福) 大阪府衛生会希望の杜（担当／塩崎康司）

16

おもちゃ図書館で子どもたちと遊びませんか

- 活動内容**: おもちゃ図書館にやって来る子どもや知的障害児、身体障害児の話し相手、遊び相手として楽しく交流してください。また、七夕祭りや夏まつりなどの行事のお手伝いもお願いします。
- 日 時**: 月曜日、第2・4水曜日、金曜日、第2土曜日（時間はそれぞれ違います）
- 場 所**: 大阪市
- 沿 線**: JR大阪環状線・阪神野田駅、JR東西線海老江駅、地下鉄千日前線野田阪神駅 各徒歩10分
- 募 集 対 象**: 中学生以上
- 費 用**: 交通費自己負担
- 問 合 せ 先**: TEL 06-6462-5650
FAX 06-6462-5650
おもちゃ図書館「なかよし文庫」
(担当／神崎真理子)

17

身体障害児のリハビリ訓練のお手伝い

- 活動内容**: 発達障害のある女の子（3歳）のドーマン法のお手伝い
- 日 時**: 隨時 時間と曜日は調整します。20～30分間です。
- 場 所**: 自宅（東南市信達市場）
- 沿 線**: JR阪和線 和泉砂川駅 徒歩20分
- 募 集 対 象**: 専門学校・短期大学・大学生、成人（概ね10～50歳代）、初心者歓迎
- 費 用**: 交通費支給
- 問 合 せ 先**: TEL・FAX 0724-83-0294
東南市ボランティアセンター
(担当／扇谷)

12

高齢者対象の音楽療法的活動を行うメンバー募集

- 活動内容**: 高齢者に音楽を使って集団で音楽療法的效果をあげるための活動を行う
- 日 時**: ①第3火曜日、第2木曜日、第1土曜日の午前
②第1木曜日の午前・午後
- 場 所**: 特別養護老人ホーム おとしよりすこやかセンター ①平野区内 ②城東区内
- 沿 線**: 地下鉄谷町線 喜連瓜破駅 他
- 募 集 対 象**: 音楽大学または音楽教室などで音楽の基礎を学ばれて、一つ以上の楽器が演奏できる方
- 費 用**: 交通費等自己負担
- 問 合 せ 先**: TEL・FAX 06-6791-1734
大阪音楽ボランティアグループ「たまゆら」
(担当／原谷千穂)

13

就学前の発達障害児の生活や保育をサポートしてください

- 活動内容**: ①保育場面での遊びや指導のサポート ②学習会（母親教室）開催時の遊び相手 ③他の療育場面や行事等のお手伝い
- 日 時**: 月曜日～金曜日 10:00～14:00で応相談
- 場 所**: 大阪府平野区喜連西6-2-55
- 沿 線**: 地下鉄谷町線 喜連瓜破駅 徒歩10分
- 募 集 対 象**: 短期大学・大学生、その他継続可能な方ならどなたでも
- 費 用**: 交通費・食費自己負担
- 問 合 せ 先**: TEL 06-6797-6682
FAX 06-6702-4492
大阪市更生療育センター（担当／杉浦・伊藤）

14

体の不自由な人たちとハーブ石けんを作ってみませんか

- 活動内容**: ボランティアといつても、とつつきにくいものではなく、誰でもが参加できるこれからの活動です。肢体不自由者のみんなと一緒に作業をしてみませんか。
- 場 所**: グローリーワーク大東（大東市野崎1-21-17）
- 沿 線**: JR学研都市線 野崎駅 徒歩5分
- 募 集 対 象**: 中学生以上 初心者・外国人・グループでの参加歓迎
- 費 用**: 交通費支給
- 問 合 せ 先**: TEL・FAX 072-862-0417
身体障害者福祉作業センター
グローリー・ワーク大東（担当／徳稻謙）



イベント情報コーナー

■「KOBE2001 届け！希望の灯り 全国へ」 市民ランナー交流会 in OSAKA

阪神・淡路大震災時の全国のボランティアへ感謝の気持ちを届けるために、神戸の市民ランナーが全国を走っています。その最終地点が大阪。ランナーを迎えるとともに、震災後の活動についてのリレートークなどを行います。

日 時：平成13年4月18日（水）
午後2時～4時
会 場：大阪市立中央区民センター
問合せ：大阪府ボランティアセンター
TEL 06 (6762) 9631

■ボランティア国際年記念事業 「地球のステージ」

これまで40ヶ国の紛争地や難民キャンプで医療活動を展開してきた山形の精神科医・桑山紀彦さんのコンサート。ライブ音楽と大画面の映像、スライドを組み合わせて、世界で起きている様々なできごとを語る「映像と音楽のシンクロ」ステージです。

日 時：4月25日（水）17時20分開場 17時50分開演
入場料：無料
会 場：柏原市民文化会館（リビエールホール）
(柏原市安堂町1-55 近鉄大阪線安堂駅下車すぐ)
問合せ：柏原市社会福祉協議会
TEL 0729 (72) 6786

■寝屋川市公民館まつり

日 時：5月12日（土）、13日（日）（入場無料）
会 場：寝屋川市立総合センター
(京阪「寝屋川市」駅下車)
内 容：公民館サークルで活動するみなさんが、日頃の成果を発表する場です。各種作品展、市民川柳大会、囲碁大会、ふれあいステージなど楽しい催しがいっぱい。
問合せ：寝屋川市立中央公民館（市立総合センター内）
TEL 072 (838) 0189

■第2回 甚兵衛会名人寄席

大阪府老人大学上方演芸科修了生（甚兵衛会）のシニアによる落語寄席が開催されます。

日 時：5月13日（日）11時～19時頃まで
会 場：大阪府立上方演芸資料館 ワッハ上方5F
(南海・近鉄・地下鉄「難波」駅より徒歩)
入場料：無料
問合せ：甚兵衛会代表 そえじま てるき
TEL 06 (6339) 8810

■シルバーシンポジウム

日 時：7月14日（土）午後1時～
会 場：毎日新聞大阪本社 オーバルホール
内 容：「高齢社会を考える」
——これからの暮らしどうなる
問合せ：〒540-0012 大阪市中央区谷町5-4-13
大阪府谷町福祉センター内
(財) 大阪府地域福祉推進財団 事業課
TEL 06 (4304) 0294
FAX 06 (4304) 2941



18 YMCAユースリーダー募集

活動 内容：ユースリーダー、野外活動リーダーとして自然の中で子どもたちの可能性を引き出すサポート。リーダー自身で企画することも可能。その他、病院訪問・障害者プログラム、国際協力活動、海外キャンプなども。

日 時：基本的に日・祝日の月1回(夏休み・冬休みなど)
場 所：大阪府内など
募 集 対 象：専門学校・短期大学・大学生、成人（概ね10～20歳代）、年間を通じて参加できる人
費 用：活動にともなう交通費・宿泊費・食費のほか、トレーニングに関わる経費・自己啓発に資するための研修費はYMCAが負担。
問 合 せ 先：TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
E-MAIL：info@osakaymca.or.jp
大阪YMCAウエルネス事業本部



19 高齢者の家事援助、 施設ボランティア募集

活動 内容：高齢者とのふれあい、生活介助、外出介助、通院介助、交流、話し相手など
日 時：月曜日～金曜日で依頼者の希望日の午後
(活動による)
場 所：大阪市東淀川区内
募 集 対 象：どなたでも
費 用：会費 年間500円
問 合 せ 先：TEL 06-6370-1630
FAX 06-6370-7114
東淀川区ボランティアビューロー
(担当／斎藤宏行)



20 施設入居のお年寄りと楽しく 過ごしませんか

活動 内容：お年寄りとの交流、話し相手、クラブ活動、行事での援助、手伝い(高齢者が好きで元気な方)
日 時：月曜日～土曜日 9:00～16:00 (相談可)
場 所：軽費老人ホーム玉美苑
(東大阪市玉串元町2-12-20)
沿 線：近鉄線 河内花園駅 バス10分 近鉄線 河内山本駅 バス10分
募 集 対 象：高校生以上、成人（概ね10～50歳代）、初心者歓迎
費 用：交通費、食事代
問 合 せ 先：TEL 0729-61-2137
FAX 0729-64-5353
(福) 玉美福祉会 軽費老人ホーム玉美苑
(担当／吉田)

ボランティア保険が新しくなりました。

ボランティア・市民活動保険のごあんない

※子ども保険・ボランティア保険Aプランが廃止され以下のように改定されました。

		ボランティア保険		新ボランティア・市民活動行事保険		
補償内容		ボランティアがボランティア活動中に、①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」、③ボランティア活動中に死亡し、「傷害保険」の給付対象にならない場合の「死亡見舞金」の3つの制度がセットされています。		ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②主催者または参加者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。		
補償金額	損害部分	本人のケティア	Bプラン	Cプラン(天災担保)		
			死亡 2302.1万円	死亡 843.3万円	I型(宿泊なし) II型(宿泊あり)	
			後遺障害 69~2302.1万円	後遺障害 25~843.3万円	死亡 500万円	
			入院(1日あたり) 8,700円	入院(1日あたり) 5,900円	後遺障害 15~500万円	
			通院(1日あたり) 5,600円	通院(1日あたり) 3,800円	入院(1日あたり) 3,000円	
	賠償部分		手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額		通院(1日あたり) 2,000円	
			対人、対物共通 最高 4億円	対人、対物共通 最高 3.5億円	手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額	
	見死亡金	対人			1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円	
		対物			1事故あたり 最高500万円	
	死本人の	死亡 30万円	死亡 30万円			
掛金	ボランティア1名 年間(中途加入でも同じ)			I型	II型	
	500円		2,000円	A区分	30円 1泊2日 283円	
				B区分	128円 2泊3日 291円	
				C区分	251円 3泊4日 299円	
					4泊5日 370円	
加入できる人や対象となる活動		・無償であること(交通費、食事代など除く) ・自助活動ではないこと ・活動のための会議や、往復途上も含む		ボランティア団体や市民団体が主催する行事 (スポーツ活動や自助活動も含む)		
保険有効期間		毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入の場合は受付日の翌日から)		行事期間中 (開催1週間前までに受付が必要)		

		新 非営利・有償活動団体保険		新 移送中事故障害保険		
補償内容		ボランティア保険の対象外で、有償活動を行う団体が活動中に、①スタッフが偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②利用者などの身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」がセットされています。		移送サービス事業の活動中に、車輌に搭乗中の加入者や利用者がケガをした場合、実施主体の責任の有無に関係なく補償します。		
補償金額	損害部分	本人のケティア	Aプラン	Bプラン	I型(車輌特定) II型(車輌不特定)	
			死亡 202万円	死亡 500万円	死亡 2,260万円 死亡 1,923万円	
			後遺障害 6~202万円	後遺障害 15~500万円	後遺障害 79.8~2,660万円 後遺障害 57.7~1,923万円	
			入院(1日あたり) 3,000円		入院(1日あたり) 3,000円	
			通院(1日あたり) 2,000円		通院(1日あたり) 2,000円	
	賠償部分		手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額		手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額	
			対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円			
	見死亡金		500万円			
	掛金	Aプラン		I型	II型	
		4,900円		2,000円 (車定員1名あたり)	2,000円 (記名利用者1名あたり)	
加入できる人や対象となる活動		営利目的ではないが利用者から実費を越える報酬を得ている活動、団体		移送サービスを実施するサービス実施主体の運転者、同乗のスタッフ、その利用者		
保険有効期間		毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入者は翌々月1日~)		同 左		

市町村の社会福祉協議会へ保険料とともに申し込んでください

安心 代理店



各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0054 大阪市中央区南本町3丁目5番14号 有楽ビル3階
TEL: 06-6252-4519 FAX: 06-6245-4686